

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アドテックエンジニアリング
 コード番号 6260 URL <http://www.adtec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 向井 敏雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 長谷川 邦雄

TEL 03-3433-4600

四半期報告書提出予定日 平成23年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	4,274	76.1	213	—	180	—	216	—
22年9月期第2四半期	2,427	70.4	△71	—	△87	—	△615	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	27.69	—
22年9月期第2四半期	△97.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	11,942	4,558	38.2	591.20
22年9月期	10,254	4,403	42.9	556.20

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 4,558百万円 22年9月期 4,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年9月期の業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,080	43.7	512	236.3	428	367.1	401	—	51.72

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 8,030,000株 22年9月期 8,030,000株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 320,322株 22年9月期 113,153株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 7,810,064株 22年9月期2Q 6,336,847株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する定性的情報	4
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(第2四半期累計期間)	8
(第2四半期会計期間)	9
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるプリント配線板業界は、ようやくリーマンショックによる不況から脱し、世界の80%以上のプリント配線板の生産をシェアするアジア圏、特に中国、韓国において活況であり、台湾もまた大手企業を中心に好調を堅持しています。携帯電話の普及、特にスマートフォンやタブレット端末の急速な市場拡大によるプリント配線板の需要増大が当社製コンタクト式露光装置並びに富士フイルム株式会社との協業の直描式露光装置(DI)の販売を牽引しました。

また、自動化装置ビジネスの一環として、ウシオ電機株式会社との協業において新たに液晶関連装置の販売を実施しました。

以上の結果、当第2四半期会計期間の業績につきましては、売上高2,713,050千円(前年同四半期比118.1%増)、営業利益243,202千円(前年同四半期比400.9%増)、経常利益219,447千円(前年同四半期比551.4%増)、四半期純利益291,157千円(前年同四半期は534,932千円の四半期純損失)となりました。

また、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高4,274,909千円(前年同四半期比76.1%増)、営業利益213,596千円(前年同四半期は71,655千円の営業損失)、経常利益180,691千円(前年同四半期は87,168千円の経常損失)、四半期純利益は216,287千円(前年同四半期は615,667千円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1,796,520千円増加し、8,970,890千円となりました。これは、現金及び預金が511,656千円、受取手形及び売掛金が255,677千円、たな卸資産が512,095千円、未収入金が435,555千円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて108,377千円減少し、2,972,016千円となりました。これは、有形・無形固定資産の取得により28,258千円増加したことと、減価償却費を113,126千円計上したこと、繰延税金資産が28,167千円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,688,142千円増加し、11,942,906千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて1,167,720千円増加し、4,821,165千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,114,867千円、賞与引当金が88,500千円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて365,722千円増加し、2,563,724千円となりました。これは、長期借入金が422,331千円増加しましたが、退職給付引当金が69,095千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1,533,442千円増加し、7,384,889千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて154,699千円増加し、4,558,016千円となりました。これは、四半期純利益216,287千円の計上により利益剰余金が増加したことと、自己株式の取得により66,765千円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は1,260,446千円であり、前事業年度末と比べ511,656千円の増加となりました。その内訳は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は、246,616千円となりました。

これは、たな卸資産512,095千円及び未収入金435,555千円の増加による資金支出がありましたが、税引前四半期純利益181,700千円の計上及び仕入債務1,114,867千円の増加により資金が増加したことが主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果支出した資金は、16,369千円となりました。

これは、有形固定資産の取得12,774千円により資金が減少したことが主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果獲得した資金は、281,409千円となりました。

これは、短期借入金の純減200,000千円及び長期借入金の返済688,410千円並びに自己株式の取得67,411千円による資金支出がありましたが、長期借入れによる収入1,250,000千円により資金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の業績予想につきましては、本日発表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末における棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益が317千円減少し、税引前四半期純利益が3,936千円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726,446	1,214,790
受取手形及び売掛金	3,522,136	3,266,458
商品及び製品	3,104	3,277
仕掛品	2,249,758	1,722,532
原材料	684,378	699,334
その他	785,666	268,576
貸倒引当金	△600	△600
流動資産合計	8,970,890	7,174,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,000,015	2,069,714
土地	571,287	571,287
その他(純額)	172,047	185,627
有形固定資産合計	2,743,350	2,826,630
無形固定資産	29,831	35,082
投資その他の資産	198,833	218,681
固定資産合計	2,972,016	3,080,393
資産合計	11,942,906	10,254,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,036,718	1,921,851
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,369,231	1,229,972
未払法人税等	8,840	11,034
賞与引当金	88,500	—
製品保証引当金	15,876	13,481
その他	301,999	277,106
流動負債合計	4,821,165	3,653,445
固定負債		
長期借入金	2,351,161	1,928,830
退職給付引当金	—	69,095
役員退職慰労引当金	179,168	179,168
資産除去債務	7,571	—
その他	25,824	20,907
固定負債合計	2,563,724	2,198,001
負債合計	7,384,889	5,851,446

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661,000	1,661,000
資本剰余金	2,044,795	2,044,795
利益剰余金	968,062	751,775
自己株式	△109,585	△42,819
株主資本合計	4,564,272	4,414,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,321	△11,433
繰延ヘッジ損益	66	—
評価・換算差額等合計	△6,255	△11,433
純資産合計	4,558,016	4,403,317
負債純資産合計	11,942,906	10,254,763

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	2,427,396	4,274,909
売上原価	1,649,738	3,187,317
売上総利益	777,658	1,087,591
販売費及び一般管理費	849,313	873,995
営業利益又は営業損失(△)	△71,655	213,596
営業外収益		
受取利息	449	150
受取配当金	1,340	1,320
原子力立地給付金	7,125	6,000
助成金収入	34,692	4,874
その他	2,546	1,897
営業外収益合計	46,154	14,243
営業外費用		
支払利息	43,220	38,136
シンジケートローン手数料	—	3,000
その他	18,446	6,011
営業外費用合計	61,667	47,148
経常利益又は経常損失(△)	△87,168	180,691
特別利益		
退職給付制度終了益	—	5,022
特別利益合計	—	5,022
特別損失		
固定資産除却損	138	394
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,618
特別損失合計	138	4,012
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△87,306	181,700
法人税、住民税及び事業税	1,620	1,620
法人税等調整額	526,740	△36,206
法人税等合計	528,360	△34,586
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△615,667	216,287

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,244,088	2,713,050
売上原価	807,227	1,992,038
売上総利益	436,860	721,011
販売費及び一般管理費	388,309	477,808
営業利益	48,551	243,202
営業外収益		
受取利息	178	52
受取配当金	950	930
助成金収入	12,101	—
その他	2,159	1,215
営業外収益合計	15,390	2,198
営業外費用		
支払利息	20,832	20,152
シンジケートローン手数料	—	3,000
その他	9,419	2,801
営業外費用合計	30,251	25,953
経常利益	33,690	219,447
特別利益		
賞与引当金戻入額	16,425	—
特別利益合計	16,425	—
特別損失		
固定資産除却損	—	394
特別損失合計	—	394
税引前四半期純利益	50,115	219,053
法人税、住民税及び事業税	810	810
法人税等調整額	584,238	△72,914
法人税等合計	585,048	△72,104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△534,932	291,157

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△87,306	181,700
減価償却費	134,714	113,126
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,385	88,500
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,639	2,395
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,894	△69,095
受取利息及び受取配当金	△1,790	△1,470
支払利息	42,981	38,136
社債利息	239	—
シンジケートローン手数料	3,000	3,000
固定資産除却損	138	394
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,618
売上債権の増減額(△は増加)	△335,067	△240,572
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,803	△512,095
未収入金の増減額(△は増加)	—	△435,555
未収消費税等の増減額(△は増加)	△8,415	△7,591
仕入債務の増減額(△は減少)	688,040	1,114,867
その他	△25,026	6,555
小計	249,574	285,914
利息及び配当金の受取額	4,781	1,781
利息の支払額	△42,577	△39,305
役員退職慰労金の支払額	△8,594	—
消費税等の還付額	58	125
法人税等の支払額	△1,502	△1,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,740	246,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△13,465	△12,774
無形固定資産の取得による支出	—	△328
その他	9,225	△3,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,760	△16,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入れによる収入	295,000	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△644,974	△688,410
リース債務の返済による支出	△4,909	△5,755
社債の償還による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	—	△67,411
配当金の支払額	△632	△28
その他	△6,601	△6,984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412,117	281,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△204,616	511,656
現金及び現金同等物の期首残高	991,836	748,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	787,220	1,260,446

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年11月12日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、当第2四半期累計期間において、207,000株、総額66,747千円を取得いたしました。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。